

国語科学習指導案
 单元名：
 「感動を言葉に」
 (全7時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年11月12日(火)第3校時
 授業学級 4年西組
 授業会場 4年西組教室
 授業者
 指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が)○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。
 詩に書く題材を見つける場面で、毎日の生活の中での出会いや発見や、感動を記憶や記録を振り返ることを通して詩に書く題材を決めだすことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導	1. 教科書 p77 の文を聞いて子供たちが出会いや発見、感動などを言う。	・詩書くの嫌だな。 ・感動って何だろう。 ・こないだのイチヨウが雪みたいで感動した。 ・あんなチクチクするとは思わなかったよね。	・毎日の生活の中での出会いや発見、感動を詩に書くということを子供に意識させるために教科書を読む。 ・題材を決める見通しを持つために出会いや発見、感動についていった子供の言葉を拾って板書する。	8分
	2. 黒板に出された詩を見る。	・○○のこと表現してる。 ・いきなり詩なんて書けないよ。 ・まだ、何を書くかも決めていないのに。 ・表現とかもよくわからない。	「先生もこんな詩を書いてきたんだ。」 ・題材を決めなければ詩を書けないという思いを持たせるために教師は黒板に詩をはる。 「早速書いてみよう」 「そうだよね。まずは題材を決めようか。」	12分
	【学習問題】詩に書く題材を見つけよう。			
		・図工の授業のことかかこうかな。 ・こないだの旅行について書こうかな。		
	【学習課題】毎日の生活の中での出会いや発見や、感動を記憶や記録を振り返ればよさそうだ。			
展	3. 題材を見つけて理由をつけてノートに書く。	・そういえば、運動会とか楽しそうだったな。 ・総合の時間の出来事を詩にしてみたいな。 ・社会科見学楽しかったな。	子供にその時の気持ちや状況を思い出させるために題材だけではなく理由も考えさせる。 手が止まっている子がいたら、パソコンの写真やドキュメントなどの記録に残っているものを見るよう声をかける。 ※題材と理由が書いてある子には詩を書くときに書きやすくするために、その時の状況を詳しく書いてと言う。	18分
			【本時の評価(評価する対象)】 詩に書く題材を決めだしている。(ノート)	

終	4. 題材を発表する。	・私は〇〇のことを書こうと思います。なぜなら〇〇だからです。	題材が決まってない子供のために他の子の題材を発表させ、題材を決めるイメージを持つ。	5 分
	5. 詩を書くために何かを考えを考える。	・表現の仕方を考えないと ・どんな感じで組み立てればいいのか。 ・まだ、情報が少ないよ。	子供たちに次に向けて何かが必要か考えさせるために、教師は詩を書くために何をすればいいか聞く。 ※題材がかけていない場合は宿題を出す。	3 分